

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 松涛会	代表者	齋藤 妙子	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>複合施設になっていて他部署との協力体制ができています。</li> <li>安岡病院、山の田内科が協力病院として緊急時等の受診などの連携ができています。</li> <li>施設内は家庭の延長線としての雰囲気があるまま活かされるようにし、不安や心配事を訴えてくる利用者様には、個別に対応をしている。</li> <li>利用者本位の柔軟な対応に心掛け、緊急な泊りなど家族の要望の受け入れをしている。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能 フォイ`金比羅	管理者	野村 恵美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
			2人		1人	1人		6人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員によって設問の受け取り方も違う為、自己評価をしてもらう際に口頭や文章にて説明を付け加え配布するようにする。今一度出来ていない項目を確認し、何故出来ていないのかを話し合いその原因・背景を探り改善に向け全職員で取り組んで行く。</li> <li>日々の業務を通し職員一人一人が都度声掛け注意をしあいスキルアップの意識を持ち業務に取り組んで行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に実施し不明な点が多かった職員へは口頭にて説明をした上で自己評価の配布を行った。日々の業務を通しどのようにすれば出来ていない項目が改善に向かうのか、その都度全職員で話し合い方法や対策を考え取り組んだ。</li> <li>注意や改善すべき事柄は各職員がその都度注意をしあい一人一人のスキル向上に努め業務を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地域住民の意見</li> <li>事業所自己評価の⑥～⑧の項目で出来ていないが増している。特に項目⑧の質を向上するための取組みは大切な点と考えるので頑張ってください。</li> <li>事業所自己評価は良くまとめられていると思う。内容からは年々スタッフの意識も変わってきているのではと推測されます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価を基に出来ていない項目に重きを置き、業務を通して解決が出来る様、都度全職員で把握・分析・振り返りをし取り組んで行く。又、職員の意識やレベルの差もあるが日々の業務や毎月行っている勉強会・外部研修（WEB研修など）も活用し個々がステップアップをして行き、スキルやケアの向上を図る。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も騒音に対しては本部を交え対応をして行く。施設周辺の交通ルールも送迎時通勤時等注意し守って行く。又、来所した家族や業者等へも協力をお願いする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時や通勤時等、施設から車が出る際の右折禁止や施設周辺は歩行者も多くいる為、徐行運転をするなど注意し交通ルールを守った。又、施設から出る際には右折禁止の表記が出ており来所した家族なども守っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地域住民の意見</li> <li>今後も施設周辺の交通ルールを守り注意をするようにして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も施設周辺を運転する際は交通ルールを遵守する。時間帯によっては子供や年配の方の歩行者もある為、特に注意をする。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルスが収束し規制緩和がなされた時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。今後も地域の方と顔をあわせる機会がある時は、必ず挨拶をするなど今できる事を行い信頼関係が築けるよう努力をして行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染予防の為、会議や行事などの開催が難しく地域の方と接する機会が更に少なくなっている。継続し通勤時や清掃活動等、地域住民と顔をあわせる機会がある時はこちらから挨拶を行うなど関係性が途切れぬ様に努力をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地域住民の意見</li> <li>現状では行事の開催は困難である。コロナが落ち着いたらまた一緒に何かできたら良いです。</li> <li>*事業所職員の意見</li> <li>近隣の方々はとても大切な応援者でもあります。関わりは大切にしていかなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルスが収束し、外部との交流が出来る様になった時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力し行事を開催して行く。引き続き近隣住民と会った際の挨拶など、現状でできる事を探して地域との関係性を深められるよう努力をして行く。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルスが収束し規制緩和がなされた時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。又、日々の取組みを外部へ向けてホームページ等を活用し発信して行くようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染予防の為、会議や行事などの開催が難しく地域と協力しての行事開催には至らなかった。地域密着委員会を通し金比羅通信の作成・回覧板を活用しフレイド金比羅の取組みなどを地域に向けて発信している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*利用者家族の意見</li> <li>コロナ禍のなか行事をいろいろ考えて下さり、参加する事で生活のメリハリが出来て良かったと思う。</li> <li>*事業所職員の意見</li> <li>地域との関係の構築は一朝一夕にはいかない。日々コツコツと信頼を得て行くほかないと思います。いろいろな方法で情報発信をして行って下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルスが収束し、外部との交流が出来る様になった時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力し行事を開催して行く。地域密着委員会での金比羅通信やホームページの活用など、コロナ禍であっても出来る情報発信・新たなアピールの仕方も探して行く。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルスが収束し規制緩和がなされた時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。又、継続し日々の活用を通して(行事やレクリエーションなど)金比羅地区の地域資源の活用・アピールを行って行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染予防の為、会議や行事などの開催が難しく地域と協力しての行事開催には至らなかった。又、行事などでの外出の機会も減っているが少人数ずつで金比羅宮へドライブ・初詣に行くなど地域資源の活用に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*事業所職員の意見</li> <li>新型コロナウイルスの影響もあり、イベントなどの開催が困難ではあるが定期的に会議や委員会にて意見を重ね、開設当初に比べて地域に根付いてきていると思う。今はどんな事でも継続して行く事が大切だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルスが収束し、外部との交流が出来る様になった時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力し行事を開催して行く。引き続き近隣住民に会った際の挨拶など、現状でできる事を行い地域に必要とされる事業所を目指して行く。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルスが収束し規制緩和がなされた時は、地域の掲示板や回覧板・運営推進会議を活用し地域の方へ参加を呼びかけて行く。又、参加しやすい様に日頃から挨拶などを通してコミュニケーションを取り関係性を密にして行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染予防の為、行事などの開催が難しく地域の方との交流の機会が少なかった。通勤時や地域の方が施設に来た際は積極的に挨拶をするなどコロナ禍であっても現状でできる事を行い信頼関係を築けるよう心掛けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地域住民の意見</li> <li>コロナウイルスの影響もあり、避難訓練等イベントへの参加・交流は難しいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルスが収束し、外部との交流が出来る様になった時は運営推進会議や地域密着委員会、回覧板を活用し避難訓練などイベントへの参加を呼びかけて行く。引き続き近隣住民に会った際の挨拶など、今できる事を継続し地域住民とコミュニケーションを取って行く。</li> </ul>